

# 人工衛星等を活用した被害早期把握システムの整備

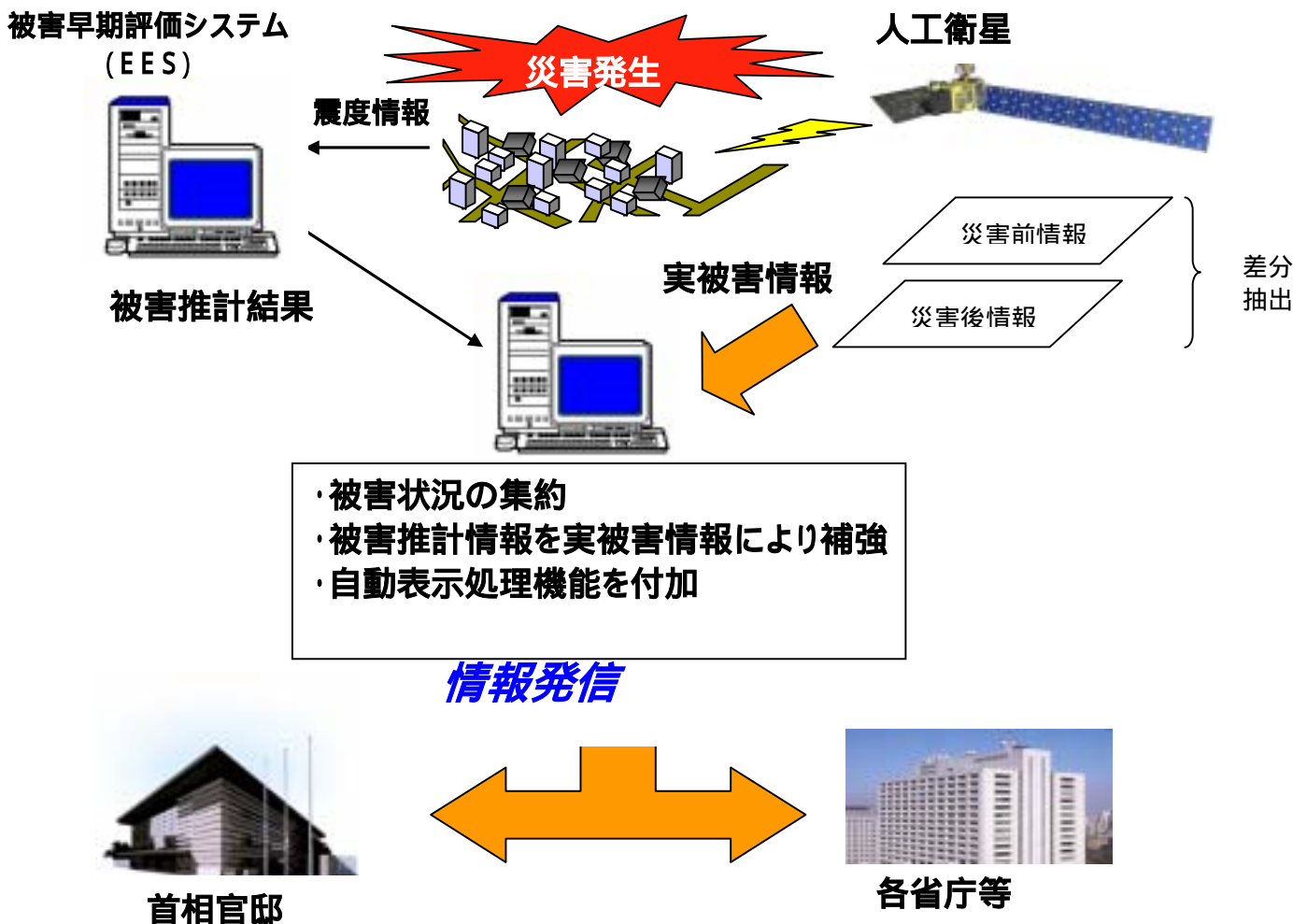
## 【施策の概要】

全国の地震計からの震度情報と地盤情報等から推計した被害推計に、人工衛星等のリモートセンシングデータをコンピュータ上で組み合わせ、早期に災害時の全体被害状況を把握することができるシステムを整備する。

これにより、交通・通信網の途絶等により被災状況等の把握が極めて困難となる災害発生直後においても、迅速かつ的確な初動体制を整えることができ、また、復旧状況についても継続的に把握することができる。

## 【平成 15 年度概算要求の内容】

平成 14 年度の調査設計を踏まえ、本格的な開発段階に入る。平成 16 年度の本格運用を目指し、年度末には試行運用を始める。

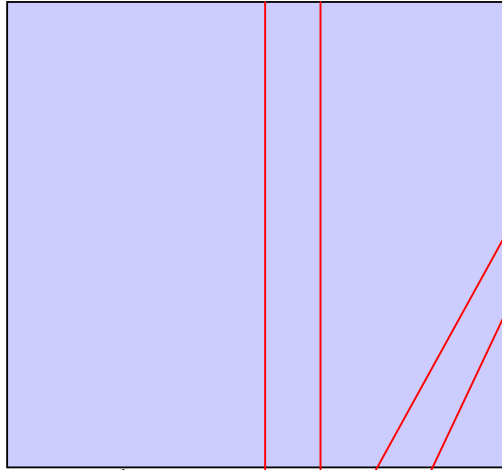


# 被害判読の例

平時の画像



重要建造物抽出（高架の場合）



災害発生後の画像



倒壊箇所  
を抽出